



J.12.02

## ヴァレオ、車載コンソールから スマートフォンの各種機能とアプリを利用できる技術を開発

2012年1月17日パリ発表プレスリリース意識—世界的な自動車部品サプライヤー、仏ヴァレオは、ドライバーが車のダッシュボードから自分の携帯電話のアプリケーションにアクセスできる「MirrorLink™」規格に対応する技術を開発しています。MirrorLink™対応システムでは、ドライバーは車載コンソール、ディスプレイ、サウンドシステムなどほとんどの主要機能を、スマートフォンからも操作できるようになります。

ヴァレオは、ノキア Qt のフレームワークを使って、車とスマートフォンのインターフェースを設計しています。ノキアが設立メンバーの一社であるカー・コネクティビティ・コンソーシアム (CCC) によって開発された MirrorLink™ によって、車載コンソールから電話の機能とアプリケーションにアクセスできるようになります。MirrorLink™ の主なメリットは、利便性と使いやすさです。

ドライバー向けのさまざまなインターフェース機能のうち、ヴァレオはスマートフォンのサービスがダッシュボードに統合されて制御可能になる接続機能を積極的に開発しています。ユーザーは、スマートフォンの通話、ナビゲーション、音楽、インターネットラジオ、天気予報、リアルタイム交通情報などのアプリや機能を、車載ディスプレイとサウンドシステムから使用できるようになります。

ヴァレオは、ユーザーがスマートフォンと車載システムのサービスをダイナミックかつスムーズに操作できる革新的なインターフェースを提供したいと考えています。そこで、ヴァレオはシンプルかつ強力な、各種プラットフォームで使用できるシームレスなインターフェースを開発するために、Qt のユーザーインターフェースとアプリケーションのフレームワークを使用します。

ヴァレオは、電話中心の車載接続ソリューションのイノベーションを世界規模で促進する組織であるカー・コネクティビティ・コンソーシアムのコアメンバーになりました。カー・コネクティビティ・コンソーシアムに加盟することにより、ヴァレオは今後、スマートフォンを車載システムと安全でシームレスかつ簡単に楽しく使えるユーザーエクスペリエンスをドライバーに提供する新たなソリューションの開発を加速させることができます。

このイノベーションは、クルマの中であっても、可能な限り日常と同じ環境で接続したいというユーザーニーズの増加に応えようとするものです。



## ヴァレオグループ

ヴァレオは、自動車部品、システムとモジュールの設計開発、生産、販売を専門とする独立系の企業グループであり、CO<sub>2</sub> 排出量の削減に積極的に取り組んでいます。世界屈指の自動車部品サプライヤーであるヴァレオは、28カ国に125カ所の工場、21カ所の研究センター、39カ所の開発センター、10カ所の物流センターを構え、67,900人の社員を擁しています。

### 本件に関するお問合せ先:

株式会社ヴァレオジャパン 広報担当 石井

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-23-13 南新宿星野ビル4F

Tel: 03-3226-9203(代表) Fax: 03-3226-9209

報道関係お問合せ先 Tel: 03-3226-8692 E-mail : yoko.ishii@valeo.com